

はまごう小だより

自分大好き！あなた大好き！！

伊勢市立浜郷小学校
令和2年5月25日
発行者 平生 理恵
第5号

学校に子どもたちの声が戻ってきました！

「おはようございま～す！！」

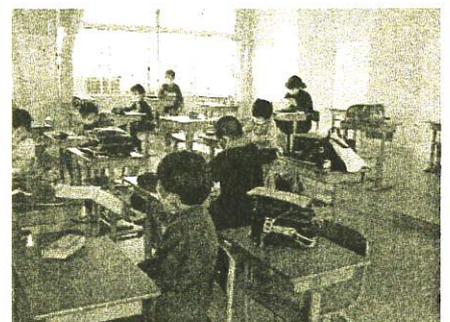
5月18日(月)から学校再開となりました。分散登校ではありましたが、ようやく学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。久しぶりの学校だったので、少し緊張気味の子どもたちもいましたが、徐々に学校のペースを取り戻しているようでした。

学校再開とは言うものの、以前とは違って、新型コロナウイルス感染症予防のためには、まだまだ注意すべきことがたくさんあります。初日はどの学年も、「3つの密」を避けるということの大切さと、そのために一人ひとりが気を付けるべきことを学習しました。

一つ目の「密」、「密集」を避けるため、子どもたちはクラスの半分ずつで、本来の自分の教室ではなく2つの教室に分かれて学習しました。したがって、担任の先生ではない先生から学ぶ時間もあり、そのことが緊張感につながったのかもしれない。

二つ目の「密」、「密接」を避けるため、休み時間の過ごし方にも注意が必要となります。今は少し寂しいですが、自分も大切なお友達も元気で過ごせるように距離が近くならないような遊び方をしましょう。運動場では、2mほどの距離をとって過ごし、教室の中では、絵を描いたり読書をしたりして人が集まらないように過ごしましょう。子どもたちが2mという距離を感覚としてつかみやすいようにと、先生方が、運動場に2m間隔にポイントを打ってくれました。子どもたちに、「久しぶりの学校はどうだったかな。」と聞いてみると、「学校の方が、友達と一緒に勉強できて楽しい！」と答えてくれました。ソーシャルディスタンスを取りながらも、子どもたちはちゃんとつながっているのだと安心しました。

三つ目の「密」、「密閉」を避けるため、教室や廊下の窓や扉を開けて十分な換気に努めています。寒さを感じる子もいるかと思いますが、温度調節のために上着を持たせていただくとありがたいです。



さて、今日からは全校登校となりました。そして、本当に久しぶりの給食でした。例年であれば、1年生の教室には6年生のお兄さんお姉さんが給食を配りに来てくれて、交流を図るのですが、今年は感染症予防のため、教師が支援することになります。また、給食室の混雑を避けるため、学年で時間差をつけて準備や片づけを行います。

<5月25日(月)の献立>

- ・麦ごはん
- ・牛乳
- ・さばのカレー煮
- ・あらめの炒め煮

今年度もおいしい給食を作っていただきます！

今年度給食を作ってくださいるのは、中村小百合さん、神谷弘美さん、世古口志津香さん、角前智絵さんの4人の調理士さんです。

年度初め、給食室の準備も万端にし、さあ、いよいよ給食開始と張り切っていたところ、休業期間となってしまいました。この学校休業の間、調理士さんたちは、子どもたちが今までよりもっと喜んで給食を食べてくれるようにと、写真のように自己紹介と調理器具紹介の掲示物を作ってくれました。衛生上、子どもたちは給食室に入ることができないので、どんな器具で給食を作っているのかを実際に見ることができませんが、この掲示物を見ると給食室の様子がよくわかります。



1階の西階段前に掲示してあります。保護者の皆さんも、来校の際にはぜひご覧ください。また、毎月の給食だよりには時々給食メニューのレシピが紹介されますから、お家でも作ってみてください。

簡単な手作りマスクを紹介します。

咳エチケットとして毎日のマスク着用をお願いしています。品薄になっていたマスクが、少しずつ店頭で売られるようになってきました。とはいえ、毎日のことですから、大変お世話をおかけしていることと思います。

先週、学校再開に向けての学習をする中で、手作りマスクの作り方を学習した学年もありました。マスクが手元にない等、緊急時に自分で作れたら大変便利です。市販品のような質の高さは求められませんが、咳エチケットとしては用を足すことができます。お家でもお子さんと作ってみてください。防災時用の新聞紙で作る簡易スリッパと同様に覚えておくと便利です。

<とても簡単な手作りマスク>

これは警視庁警備部災害対策課のツイート「簡易マスク」の作り方です。

キッチンペーパー（なければティッシュペーパーを重ねたものでもいいかな。）を蛇腹に折り、両端に輪ゴムをつけホチキスで留めるだけの簡単なものです。ホチキスの位置で大きさを調整でき、とても簡単に作ることができます。着けた人の感想としては、着け心地は「苦しくない。いい感じ。」とのこと。密閉性には少し欠けますが、砂ほこり等は十分に防げます。

